

2021年度学校関係者評価委員会 評価結果報告

日産栃木自動車大学校 学校関係者評価委員会

1. 開催日時

2021年6月4日（金） 14：00～16：00

2. 開催場所

日産栃木自動車大学校 会議室

3. 出席者

- （評価委員） 1、委員長（業界団体・卒業生代表）青柳 洋平様（栃木県自動車整備振興会 課長代理 / 一級自動車工学科 第1期生）
 2、委員（地域団体代表）星野 光弘様（上三川町 総務課長）
 3、委員（企業・卒業生代表）星 章夫様（栃木日産自動車販売(株) 店舗支援部 部長 / 自動車整備科 第4期卒業生）
 4、委員（企業代表）水越 喜之様（日産プリンス栃木販売（株）サポート本部 教育チーム 課長）

（学校事務局） 川嶋則生（校長）、櫻井廣行（教頭）、高橋 真（教育部教育課長）川上宏美（学務部部长 / 事務局窓口）
 渡辺 禎（教育部 課長代理） 羽井野昌能（学務部 課長代理）

4. 議題

- 1) 校長挨拶
- 2) メンバー紹介（評価委員、学校事務局）
- 3) 2020年度の活動振り返り
- 4) 意見交換

5. 議論

・項目別評価と主な意見、及び それに対する学校の受止め

認否	基準	項目	内 容
承認	1. 教育理念・目標	主な課題	・日本人の学生もその特性も多様化しており、従来の育成方法の見直しを進めている。 ・増加する留学生に対しては、3年制の新課程を21年度から立上げ、語学の問題等に対応している。
		主な意見	特になし
		意見の受止	※関連する論議は、3. 教育活動 の中で、報告する。
承認	2. 学校運営	主な課題	学校の組織運営は、20年度に立ち上げた校内活性化活動で校内のコミュニケーションは大きく改善された。 21年度も活動を継続し、状態の維持及び更なる改善を図る。
		主な意見	特になし
		意見の受止	—
承認	3. 教育活動	主な課題	・育人人材像を描く中で、中期的に「自主性・主体性」の育成を軸に様々な取り組みを行い、一定の成果を得ているが、21年度は 実習授業に主体的に取り組むテーマを入れていく事で活動をスタートしている。 ・自主性については、学生の守るべきルールについて、時代背景を踏まえ、その必要性を整理してきた。21年度は、それを学生に明確に示しつつ、遵守させていく。
		主な意見	・学生が主体的に取り組む授業を作っていくというが、具体的にはどういうものが聞きたい（星） ・販社でも身だしなみでの指導はよくある。その際、店長が指摘するより、お客さまからの染髪や姿勢、つなぎの汚れなどの指摘を伝える方が、従業員は真摯に受け止めて対応してくれる。（水越、星）
		意見の受止	・「主体的に取り組む授業」については、まだ試行錯誤の状態であり、21年度の活動の中で、どういうものがそれに当てはまっていくのか、つまびらかにして報告する。 ・校内での守るべきルールの指導に当たっては、販社のお客さまの視点からの指摘を話すなど参考にして活動する。
承認	4. 学修成果	主な課題	・20年度は国家資格は100%取得。就職も100%内定と高い実績を確保。次年度も同様の活動を継続する。
		主な意見	特になし。
		意見の受止	—
承認	5. 学生支援	主な課題	・退学率は3.2%と昨年から大きく改善。21年度も引き続き学生のフォロー活動は充実させていく。 ・様々な理由から、整備職を望まない学生もおり、業界こそで整備の魅力を訴求していく事が望まれる。 ・留学生は、全員整備職につくが、首都圏にほぼ全員が流出しており県内への道も拡充したい。
		主な意見	・栃木県在住の学生だけを見ると、整備士志望の少なさに改めて問題意識を持つ。（星） ・授業に現役整備士の方の指導を取り込む活動を進めてきた。この活動自体は学生に好評だが、整備士志向の向上という成果にはまだ結びついていない。（櫻井） ・今後の貴重な人材となる留学生の地元定着に向けて、地元企業におかれては、さらに積極的に留学生採用を検討いただきたい。（川上）

認否	基準	項目	内 容
		意見の受止	<ul style="list-style-type: none"> ・21年度も、引き続き、現役整備士による授業での指導を実施していく。 ・今年は、早期（夏季休暇）で販社訪問による学生の整備へのモチベーション向上策を検討する。
承認	6. 教育環境	主な課題	・コロナ禍の為、インターンシップがやむを得ず本来の形で実施できず、校内研修に形を変えている。コロナ禍の終息と共に、本来の形に戻したい。
		主な意見	特になし
		意見の受止	—
承認	7. 学生募集・受入	主な課題	<ul style="list-style-type: none"> ・21年4月入学の募集目標は未達成となった。コロナ禍もあって留学生の来日、当校への誘引がままならない状況にある。22年4月の入学に向け、改めて、日本人の募集に注力するとともに、少ない留学生の発掘・誘引を図る。 また、当面の話以外に、年々、自動車整備士志望の学生が減少する中、将来に向け、業界で自動車整備士への志望を高めていく必要がある。
		主な意見	<ul style="list-style-type: none"> ・整備振興会には、地元業界を取りまとめ、若者の整備士への意向を高める活動・イベントの開催等お願いしたい。 販売会社には、中高生のインターンシップの積極的な受け入れや、整備の勉強をする為の奨学金の設定など、支援の拡充をお願いしたい（川上） ・会社でも学生のインターンシップを中高に呼び掛けて、積極的にやる事は既に始めている（水越） ・奨学金なども、現況を踏まえ、社内に対応を考えたい（星） ・自動車整備振興会も、上司に状況を話して検討したい（青柳）
		意見の受止	・学校は当面の募集活動に全力を傾注すると同時に、将来の為、業界こそつての若者の整備士意向高揚策を考え提案していく。業界の各位も、これに積極的に協力していく。
承認	8. 財務	主な課題	・募集状況の悪化が、直接的な財政の圧迫につながっており、募集活動の反転が喫緊の課題。
		主な意見	特になし
		意見の受止	—（課題の受け止めは、7. 学生募集・受け入れ に記述）
承認	9. 法令等の遵守	主な課題	新型コロナウイルス感染症対応については、行政の指示等をマニュアルにまとめ、取り組みを継続しており、現在まで通常授業を継続できているが、まだ、予断を許さない状況にある。
		主な意見	特になし
		意見の受止	—
承認	10. 社会貢献	主な課題	特になし
		主な意見	特になし
		意見の受止	—

以上